

別府の古代ロマン

鬼ノ岩屋 古墳群

案内マップ



実相寺古墳群

実相寺古墳群は、鷹塚古墳を中心として、太郎塚古墳・次郎塚古墳・天神畑1号墳と2号墳からなる古墳群です。古墳の形や副葬品・石棺の形などから畿内政権とのつながりの深い古墳群であると考えられます。平成29年2月9日に国史跡に指定されました。



■ 実相寺古墳群全域

鷹塚古墳

鷹塚古墳はこれまで円墳であると考えられていましたが、近年の発掘調査の結果、1辺約25mの方墳であることが判明しました。方墳は畿内政権にとって重要な意味を持つ場所の限定的な階層にしか造ることが許されなかったと考えられており、西暦600年頃の大分県では唯一別府に鷹塚古墳が造られました。

■ 鷹塚古墳



鷹塚古墳の内部には横穴式石室と呼ばれる死者を葬る空間が造られています。横穴式石室の全容は不明ですが、羨道部(通路)の天井には3mを超える巨石も使用されており、これまで県内最大規模の巨石墳と考えられていた鬼ノ岩屋2号墳を超える規模の石室であったものと想定されます。

■ 鷹塚古墳の石室入口(上から)



太郎塚古墳・次郎塚古墳

形
円墳

規模
直径約
23m

時期
6世紀
後半

太郎塚・次郎塚古墳は、ともに直径約23mの隣接する円墳です。発掘調査の結果、6世紀後半の近接した時期に造られていることが判りました。次郎塚古墳の入口付近からは7世紀代の金銅製の馬具が発見され、最初に葬られた人物の子弟の埋葬時に副葬されたものと考えられます。



■ 太郎塚古墳(奥)と次郎塚古墳(手前)

天神畑1号墳・2号墳

■ 移築された天神畑1号墳の石室



天神畑1号墳は、平成2年に行われた発掘調査において発見された古墳です。墳丘はすでに造成により無くなっていましたが、主体部である横穴式石室の底の部分が残っており、古墳の内部が不明な点の多い実相寺古墳群において貴重な成果となりました。鷹塚古墳に後続する古墳と考えられています。また、近年新たに天神畑2号墳が発見され、1号墳同様に墳丘は無くなっていましたが、奥壁や側壁など石室の一部が確認されたほか、赤色の彩色が塗られていることも判りました。

形
不明

規模
不明

時期
7世紀
初頭

■ 実相寺古墳群の出土遺物



■ 天神畑2号墳



実相寺 文化財愛護少年団 × 別府大学 考古学研究室

見どころ調査



実相寺古代遺跡公園から
高崎山の方角を見て！

あの小さい山が
鷹塚古墳だよ

高崎山

今から約1400年前
西暦600年頃の
聖徳太子と同じ時代に
造られたんだ

鷹塚古墳入口

鷹塚古墳は
県内最大の方墳だって！
すごいね！

復元住居

鷹塚古墳
イメージ

鷹塚古墳

十文字原第1遺跡の
配石墓は高速道路建設時に
調査して縄文時代のお墓と
考えられているんだよ。

天神畑1号墳

天神畑2号墳



今は公園内に展示
されているよ

天神畑1号墳
石室は平成2年に
横穴式石室の底部が
発見されたんだ



実相寺2号石棺は
7世紀前半頃の畿内系家形
石棺だと考えられているよ

太郎塚・次郎塚古墳の

周りの溝からは甕などの
須恵器がたくさん出てきているよ

横穴式石室墳で
6世紀後半の偉い人の墓
だと言われているよ。



春木芳元1号石棺は
近くの春木芳元遺跡から移して
きたんだ

古墳時代中期後半に
造られたんだよ！

実相寺古墳群よりも
古い時代の偉い人の墓だよ！

次郎塚古墳

太郎塚古墳

実相寺古代遺跡公園

実相寺1号石棺は
古墳時代中期後半頃の
舟形石棺だと考えられているよ

この石棺の古墳は
どこにあったんだろう？

九州横断道路



MAP 古墳群 周辺図



鬼ノ岩屋・実相寺古墳群とは

鬼ノ岩屋・実相寺古墳群は、春木川を挟んで約1km離れた2つの古墳群です。この2つの古墳群は6世紀後半から7世紀初頭のおよそ50年間という短い間に、当時としては県内最大規模の古墳を立て続けに造りました。鬼ノ岩屋古墳群は筑後や肥後の影響が認められ、実相寺古墳群は畿内政権とのつながりが指摘されています。

	鬼ノ岩屋古墳群	実相寺古墳群	できごと
550年	鬼ノ岩屋2号	太郎塚 次郎塚	
600年	鬼ノ岩屋1号	鷹塚 天神畑1号	593 聖徳太子が摂政に 607 遣隋使を派遣
650年			645 大化の改新
700年	速見郡衙		

ぐんが うまや 郡衙と駅の想像図

鬼ノ岩屋・実相寺古墳群が造られなくなったのち、別府には速見郡衙が設置され、郡衙を中心に人とモノの交流が盛んに行われました。速見郡衙は2つの古墳群の中間にある八幡石垣神社付近にあったと推定されています。



鬼ノ岩屋2号墳

鬼ノ岩屋1号墳

上人幼稚園

上人小学校

上人小学校 文化財愛護少年団 × 別府大学 考古学研究室

見どころ調査

鬼ノ岩屋2号墳は、全長37.5mの円墳で、県内有数の規模を誇る古墳だよ。1号墳よりも少し古い時期に造られたんだ。

鬼ノ岩屋1号墳は西暦600年頃造られた円墳だよ。

2号墳の石室は、県内最大級の規模を誇る単室構造（部屋が一つ）の横穴式石室だよ。

玄室には巨石を使った屍床があり、邪視文という模様が彫られているよ。

1号墳の石室形は福岡県や熊本県に多い棺の一種で、家形石棺が変化してできたものなんだよ。

部屋の壁は赤く塗られ、前室の右の壁には黄色で山形模様が描かれているよ。

県内最大！玄室は長さ4m、幅3m、高さ4mで縦長のやや長方形なんだ。

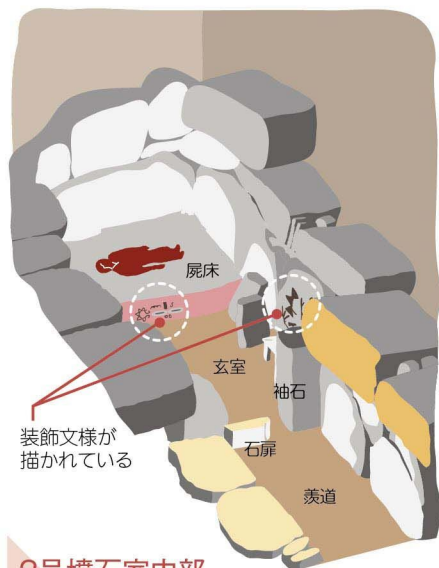
屍床前面には黒色で盾、動物、双脚輪状文の模様が装飾されているよ。

玄室側面には複雑な模様や円文が黒色で装飾されているよ。

羨道は前室につながる道のことだよ。

1号墳前室の袖石には黄色で靱や黒色で三角をS字で囲む模様が描かれているよ。

4 鬼ノ岩屋 3



2号墳石室内部



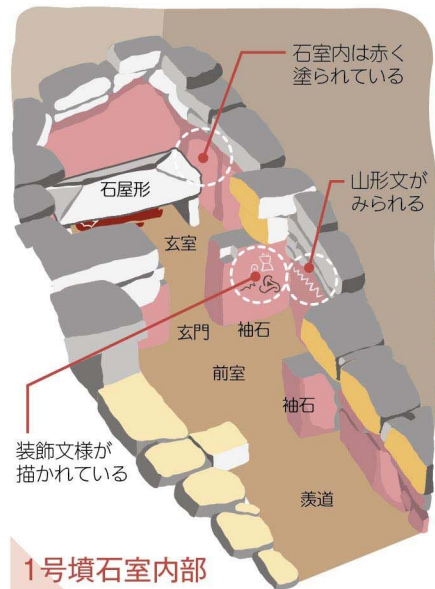
■ 2号墳石室内部

鬼ノ岩屋2号墳の装飾は、屍床の前面と左右の側壁、袖石に描かれています。屍床の前面にある邪視文（目のようなくぼみ）の周囲に盾や動物、双脚輪状文が描かれています。左側の側壁には円文が2つ並び、右側の側壁には様々な文様が描かれています。

2号墳の装飾壁画の特徴



■ 1号墳石室内部



1号墳石室内部

形 円墳	規模 直径約37.5m	時期 6世紀後半
---------	----------------	-------------

鬼ノ岩屋2号墳は、直径約37.5mの円墳です。造られたのは6世紀後半で、同じ時代の古墳の中では大分県で一番大きな古墳です。古墳の内部には、単室構造の横穴式石室が造られ、鬼ノ岩屋2号墳は、墳丘と石室の規模から古墳時代後期の大分県を代表する古墳といえます。

鬼ノ岩屋2号墳



■ 鬼ノ岩屋1号墳

鬼ノ岩屋1号墳の装飾は、前室の側壁と袖石に描かれています。側壁には黄色の顔料で連続する山形文が描かれています。玄門の袖石には、黒色の顔料で三角形文とそれを囲むS字文様が描かれ、また黄色の顔料で靴（矢を入れる道具）が描かれるなど被葬者の人物像がしのべれます。

おにのいわやこふんぐん

鬼ノ岩屋古墳群

鬼ノ岩屋古墳群は、2基の円墳からなる古墳群です。2号墳が6世紀後半、1号墳は少し遅れて6世紀末～7世紀初頭頃に造られました。石室の構造や装飾壁画の存在などから肥後や筑後地方とのつながりが強い古墳群であると考えられます。昭和32年11月28日に国史跡に指定されました。

1号墳の装飾壁画の特徴

鬼ノ岩屋1号墳は、直径約31mの円墳です。造られたのは6世紀末～7世紀初頭で、古墳の内部には、前室と玄室の複室構造の横穴式石室があり、加工した石を積み上げて石室が造られています。玄室には石室形と呼ばれる肥後や筑後地方の特徴を持つ石のひつぎがあります。

■ 鬼ノ岩屋1号墳(奥)と2号墳(手前)



鬼ノ岩屋1号墳

形 円墳	規模 直径約31m	時期 6世紀末～7世紀初頭
---------	--------------	------------------